

# 令和6年度いじめ問題解決に向けた藤岡市立小野中学校の取組

## 1 いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

児童生徒同士でよさを認め合い、あたたかな学校をつくる

## 2 「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

いじめ問題解決のためには、日常的に「互いのよさ」を伝え合える場が大切であると考える。そうした機会を全校生徒でもつができるように、生徒たちが言葉を積極的に交わし、気持ちよく活動できるイベントや企画を考えて実施していくことを目指す。『責任を持った言動で和やかな関係をつくるには』、一時的なものではなく、目的や頻度も考えながら継続していける取組を実施していきたいと考える。

## 3 共通の取組

### ①「あいさつ運動」

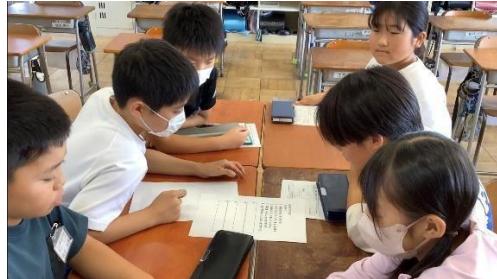
クラスごとに朝のあいさつ運動を行った。明るい挨拶の声が登校する生徒たちを迎えて、良い雰囲気で活動を行うことができた。また、朝早く登校してきた生徒が中心となって、常設のあいさつ運動も行うことができた。(写真1)

さらに、小野小学校とのコラボ企画として、「小野小中あいさつすごろく」と「生徒会あいさつ交流」を行った。「小野小中あいさつすごろく」は、あいさつの目標が書かれたマスを1日ごとに進めていき、楽しくよりよいあいさつを目指せるようにした。あいさつの目標については、小学校と中学校の代表で案を出して決めた。(写真2、3)「生徒会あいさつ交流」では、小野小に小野中生徒会本部役員が出向き、あいさつ運動を行った。知っている子ども同士は、自然とハイタッチやハグをしていた。中学校を身近に感じ、入学に向けてやる気や希望をもてるものとなった。

(写真4)



(写真1)



(写真2)



(写真3)



(写真4)

## ②「HAPPYはあとふるツリー運動」

1枚は席の近くの友達にメッセージを書くなど、必ず全員の名前がツリーの中に入るようにした。それ以外は学年やクラスの枠を超えて自由に記入できるようにした。クラスや学年を超えて、メッセージを書き合うことも多くあった。人権集中学習期間中は生徒会本部役員が各クラスのツリーで見つけた素敵な言葉を昼の放送で紹介した。学校全体で笑顔があふれる活動となった。

人権集中学習期間の最後には各クラスのはあとふるツリーの報告を全校生徒の前で学級委員長が行った。また、人権集中学習期間が終了した後も生徒玄関に全クラスのはあとふるツリーを掲示し、皆が見られるようにした。

## 4 私たちの取組

### (1) 人権週間

#### 人権週間スローガン

「優しさであふれる“ほっと”な学校をつくろう！」

人権週間スローガン

“ほっと”には、ほっと安心する・HOT=あたたかいの2つの意味がかけられている。

優しさであふれる  
“ほっと”な学校をつくろう！

今年度は11/25～12/13までの三週間を人権集中学習期間とし、各委員会が協力して以下のような取組を行った。



- ①生徒会本部と生活委員　　はあとふるツリーの作成、報告
- ②放送委員会　　人権ソングを放送
- ③JRCユネスコ委員会　　募金活動
- ④生活委員会　　あいさつすごろく
- ⑤図書委員会　　人権集中学習期間に読んで欲しい本を紹介
- ⑥安全委員会　　下校時の挨拶、交通安全の呼びかけ

### (2) きずな活動（縦割り活動）

きずなタイムでは、全校生徒が体育館に集まり、学年を超えての交流を行った。三年生がきずな班のリーダーとなり、後輩たちに話を振るなど、うまくまとめながら活動を行うことができた。年度初めには、団の結成とリレーションづくりを行った。（写真5、6）

校内陸上記録会に向けた応援練習では、各団の3年生が1、2年生に応援歌の振り付けや歌詞を教え、当日には学年を超えて声を枯らすほどに応援をし、一致団結して盛り上がる姿が見られた。（写真7、8）



（写真5）



（写真6）



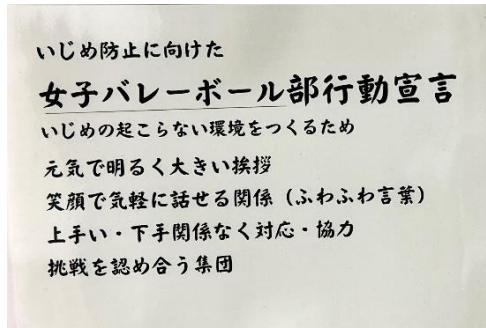
(写真7)



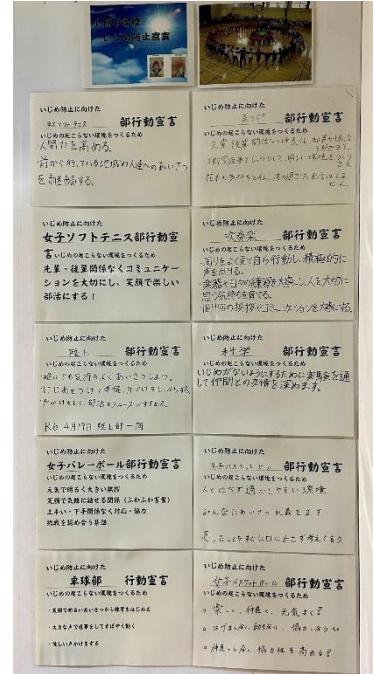
(写真8)

### (3) 部活動いじめ防止宣言

小野中学校では部活動でのいじめ防止宣言を行っている。より良い学校を作るために、まずは部活動をあたたかい環境にしていこうという活動であり、安心して部活動が行えるように各部活動が、いじめ防止に向けて実践することを宣言している。宣言を書いたものは生徒玄関の近くに掲示して常時見えるようになっている。(写真9、10)



(写真9)



(写真10)

## 5 取組のまとめ

### (1) 取組の成果

生徒が中心となって、あたたかな学校をつくるための工夫を考え、実践する機会を多くもつことができた。全員で動く活動や、全員の名前が必ず入るものなどにより、一人一人の存在が大切で、皆で小野中学校をつくっているという意識も生徒たちがもてたと感じる。

### (2) 今後の課題

『責任を持った言動で和やかな関係をつくる』ために、日常的に日常的に「互いのよさ」を伝え合える場を具体的に考え、実践していく。現在具体案を生徒会本部役員で検討中のため、今年度内に具体案の決定を行い、来年度からスタートできるようにする。これまでの活動を大切にしつつ、今の目の前の生徒達に必要なことに向き合い、よりよいいじめ防止活動を築いていきたい。

# いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立小野中学校

月	学校の取組	中学校区での取組
4月	<ul style="list-style-type: none"><li>生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）</li><li>縦割り班でのピアサポート活動（人間関係づくり）</li></ul>	
5月	<ul style="list-style-type: none"><li>生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）</li><li>二者面談の実施</li><li>縦割り班での陸上記録会応援練習</li></ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"><li>生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）</li><li>各クラスあいさつ運動</li></ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"><li>生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）</li><li>長期休業前 SNSの利用について生徒に啓発</li><li>三者面談の実施</li></ul>	
8月		
9月	<ul style="list-style-type: none"><li>藤岡多野いじめ防止フォーラムへの参加（藤岡工業高校）</li><li>生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）</li></ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"><li>生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）</li></ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"><li>生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）</li><li>HAPPYはあとふるツリー（後期人権週間）</li><li>人権に関する各委員会の取組（後期人権週間）</li><li>いじめに関する道徳の実施</li><li>三者面談の実施</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>あいさつすごろく</li><li>いじめ問題解決に向けた教育懇談会</li></ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"><li>生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）</li><li>人権講演会（SOSの出し方に関する教育、みんなで考えるハシエン病）</li><li>情報モラル教育（SNSを利用したコミュニケーションのあり方について）</li><li>人権週間のエンディング集会（取組の発表など）</li><li>冬期休業前 SNSの利用について生徒に啓発</li></ul>	
1月	<ul style="list-style-type: none"><li>いじめ問題解決に向けた子ども会議開催</li><li>生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）</li></ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"><li>生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）</li></ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"><li>生徒集会にて子ども会議の内容の伝達</li><li>生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）</li><li>縦割り班でのピアサポート（3年生を送る会）</li><li>春期休業前 SNSの利用について生徒に啓発</li></ul>	